

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会ったイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2024年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2448		2024年11月24日	
主日礼拝式順序		午前10時30分	
		受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前 奏			
招きの言葉	[1] 詩編第100編1～2節	司会者	
讃美歌	28	一同	
子どもたちへのおはなし			
祈り		司会者	
聖書	ヨハネ福音書3章1～16節 (新約聖書 167ページ)		
讃美歌	347 (1～3節)	一同	
お話し	「聖霊による新生」		
		齋藤朗子 牧師	
讃美歌	347 (4～6節)	一同	
献金		一同	
報告		司会者	
讃美歌	90 (3節)	一同	
祝福の祈り			
後 奏			
* 当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 * 旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 * 献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。			
〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 お知らせ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 ●本日は、牧師が能登へ出張のため、仙台宮城野教会の齋藤朗子牧師が10時半からの礼拝を担当されます。また、早朝礼拝は録画配信となります。 ●今週土曜日、クリスマスの「飾りつけ」が行われます。また、12月8日のオリーブ会で教会のシンボルツリーについて、話し合われます。どうぞ、お覚え下さい。			

〇〇〇〇〇〇〇〇 今週の集会 〇〇〇〇〇〇〇〇	
☆「初心に帰って聖書を読む会」	11月26日(火)10:30～ オンライン併用
☆「みことばと祈りの時」	11月27日(水)19:30～ オンライン併用
☆「荊冠の神学」読書会	11月28日(木)10:00～ オンライン併用
〇〇〇〇 次週の予告 (12/1) 〇〇〇〇	
☆ アドベント第一主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)	
[聖 書]	ゼカリア書9章9節
[お 話]	「見よ、あなたの王が」
[讃美歌]	240 90 [招きの言葉] 11
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で可能な方に担当いただきます。
奏 楽	

〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 お知らせ 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇	
❖ 今後の予定は以下の通りです	
・12月3日(日) アドベント第一日曜日・柴宿教会礼拝奉仕(14時半～)	
・12月8日(日)オリーブ会・教会学校遠足(礼拝後)	
・12月14日(土)栄光まきびと園クリスマス	
・12月20日(金)石巻広域ワイス・メンズ・クラブ クリスマス例会(石巻山城町教会にて)	
・12月22日(日)石巻栄光教会クリスマス礼拝(10時半～)	
・12月24日(日)石巻栄光教会クリスマスイブ礼拝(19時半～)	
・1月19日(日)宮城中地区との講壇交換	

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	11人	み言葉と祈りの会	3人
早朝礼拝	2人	聖餐式	5人
月 定 献 金		特 別 献 金	
石井龍子 (クリスマス献金・ 召天記念 石井信子)			
席上献金	¥17,230		

週報別冊

2024年11月24日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【石巻栄光教会関係】

- 「按手礼・牧師就任式のお知らせ」（日本基督教団霊南坂教会）：
同信伝道会の東京の教会で、菅根謙治正教師の牧師就任式が12月8日（日）に行われる旨の連絡を頂きました。
- 「FEBC1566」（キリスト教放送局 FEBC）：11月29日から放送される川上牧師のインタビュー番組「対話で信仰を受け渡す試み」の紹介が掲載されています。
- 「まきびと」（社会福祉法人牧人会）：クリスマス献金の要請を賜りました。

【その他教会・団体関係】

- 「SSKU コイノニア通信」（就労支援事業所コイノニア）：就労支援A型事業所を廃止し、B型事業所のみで運営を続けること、利用者の通所日数が減少して存亡の危機に瀕していることの報告が掲載されています。

2. 牧師動静

11月18日（月）

朝から宮城県宗教学会連絡協議会の会員研修旅行に出席し、東京の浄土宗 回向院と増上寺で研修をしました。

11月19日（火）

午前中、休暇を頂き、夜、「フォーサイス」読書会をオンラインで主宰しました。

11月20日（水）

午前中、東北ヘルプの事務を執り。午後、キリシタン読書会を十三浜で主宰し、夜、祈祷会を主宰しました。

11月21日（木）

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式をし、午後、エマオにて仙台キリスト教連合世話人会に出席し、その後、東北ヘルプの事務を執りました。

11月22日（金）

朝から東京たんぼぼワイズメンズクラブのボランティアの接遇をし、夜、石巻広域ワイズメンズクラブの例会に出席しました。

11月23日（土）

朝から能登へ行き、「世界食料デー仙台大会」の支援活動を主宰しました。

- 本日は仙台宮城野教会の齋藤朗子牧師に10時半からの礼拝奉仕を賜りました。先々週には同教会の齋藤篤牧師にご奉仕を賜り、本当にありがたく感謝に思います。仙台宮城野教会に神様の祝福が溢れますように、お祈りして行きたいです。
- 今週木曜日、川上牧師は、オンラインで（石巻栄光教会礼拝堂で）、重松清氏の小説『希望の地図』の紹介を、福島県キリスト教連絡会主催の学習会で致します。ご参加希望の方は、お知らせください。
- 次週日曜日、午後2時半から、柴宿教会の礼拝を川上牧師が担当します。ご一緒いただける方は、どうぞ、お知らせください。
- 12月27～30日に、ワイズメンズクラブで輪島市の支援活動を行います。川上牧師も参加し、12月29日（日）の礼拝に中澤達生牧師のご奉仕を賜ることになりました。石巻でも輪島でも、素晴らしい神様の御業が溢れますように、お祈りください。

- 1月1日（水）午後、仙台青葉荘教会にて、仙台キリスト教連合主催による新年礼拝が行われます。川上牧師が司式を担当します。ご一緒いただける方は、どうぞ、お知らせください。

11月25日（月）

日中、米山で中澤先生が主宰する「実践宣証会議」に出席し、夜、オンラインで東北ヘルプ理事会に出席します。

11月26日（火）

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、夜、仙台で反貧困みやぎネットワーク総会に出席します。

11月27日（水）

終日、教会で執務します。夜、祈祷会を主宰します。

11月28日（木）

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式をします。午後、福島県キリスト教連絡会の放射能問題学習会にオンラインで出席します。

11月29日（金）

午前中、教会で執務します。午後、食品放射能計測事業協同運営委員会にオンラインで出席します。

11月30日（土）

終日、仙台白百合女子大学カトリック研究所の「クリシタンツアー」を主催します

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。

代々の教会は、人々の繋がりでできています。そこに、人々の繋がりについての秘密があります。ですから、あるいは不思議に思う向きもあるかもしれません。つまり、なぜ、そのような「代々の教会」が、社会における少数派なのか、ということです。実際、代々の教会は今も無視されています。過去に、そして今も、教会には錯誤と破れがあります。そのことを忘れてはいけません。しかし、その上でなお、私たちは次のことを思い出すようにしましょう。

そもそも、代々の教会は歴史の中に働いているのです。このことを思い出すようにしましょう。教会は数々の横領・使い込みをしてきました。しかしそれでも、その力と祝福は、残されています。不滅の「レムナント（残された者）」はどんな時代にも残されています。その人々は、大多数の人々が奉じている原理によって圧迫されますが、その恐ろしい圧力をかいくぐって生き残り、歴史を通じて勝利しています。そこには「選びの原理」があります。「ほとんどいない」と思われるような選ばれた民のために、大勢の人々が存在しているという原理です。

政治というものは、必ず、多数者によって動きます。しかし、宗教というものは少数者・選民によって動いた時に、最も力強いものとなるのです。代々の教会と国家・政府というものは、実に違っているものですが、まさにここにおいて、その違いは根本的なものとして確認されます。

——P・T・フォーサイス『教会論』